

新美化センター整備基本構想の策定について

1 計画の名称

計画の名称は、『新美化センター整備基本構想（以下「基本構想」という。）』とする。

2 策定の主旨

現在、市内で発生する可燃系一般廃棄物は、エコパークあぼし（姫路市網干区網干浜）及び市川美化センター（姫路市東郷町）の2施設で処理を行っている。

市川美化センターは、平成4年の運転開始から、すでに30年が経過しており、老朽化が進んでいる。平成30年度から4年間で長寿命化工事を行ったことにより、今後、概ね10年間の稼働が可能と考えている。

しかしながら、施設の老朽化や大規模改修等を繰り返すことで生ずるコスト増への対応、そして高い環境保全性と安全性を備えることによる循環型社会の形成などにも対応するため、新たな施設の建設を検討しなければならない時期となっている。

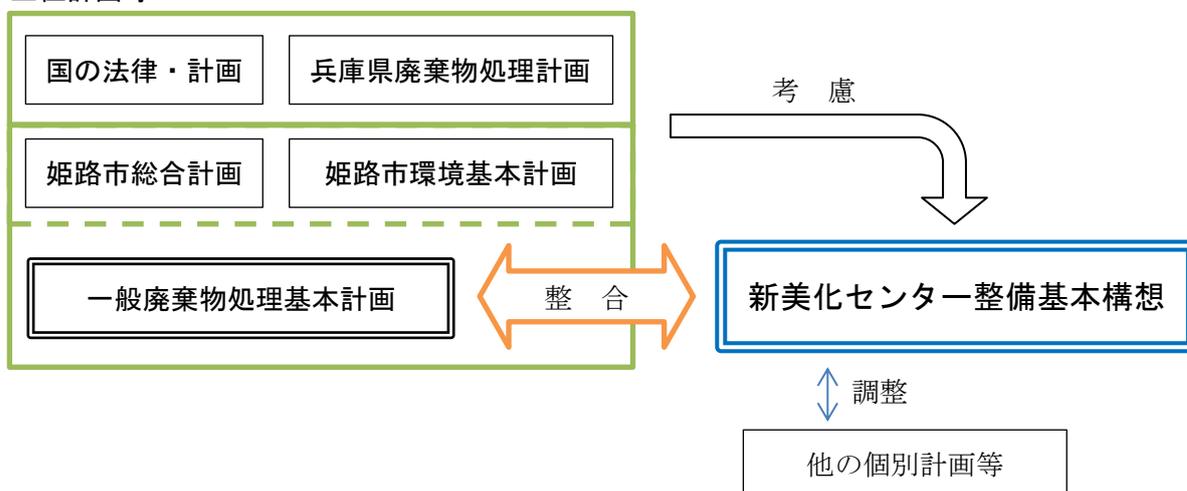
本構想は、令和14年度の稼働を目標とする新美化センターについて、整備に係る基本方針、処理システム、建設候補地の選定方法、施設規模及び整備スケジュールなど、新たな施設の基本的な整備方針を策定することを目的とする。

3 計画の位置づけ

姫路市における一般廃棄物の処理に係る上位計画としては、今年度に見直しを行う「姫路市一般廃棄物処理基本計画」がある。このたび策定する基本構想については、姫路市一般廃棄物処理基本計画を上位計画として位置づけるとともに、本市における他の個別計画等との整合を図るものとする。

また、姫路市一般廃棄物処理基本計画は国の法律・計画や兵庫県廃棄物処理計画、姫路市総合計画及び姫路市環境基本計画を上位計画とすることから、基本構想においてもこれら計画を考慮したものとする。

上位計画等

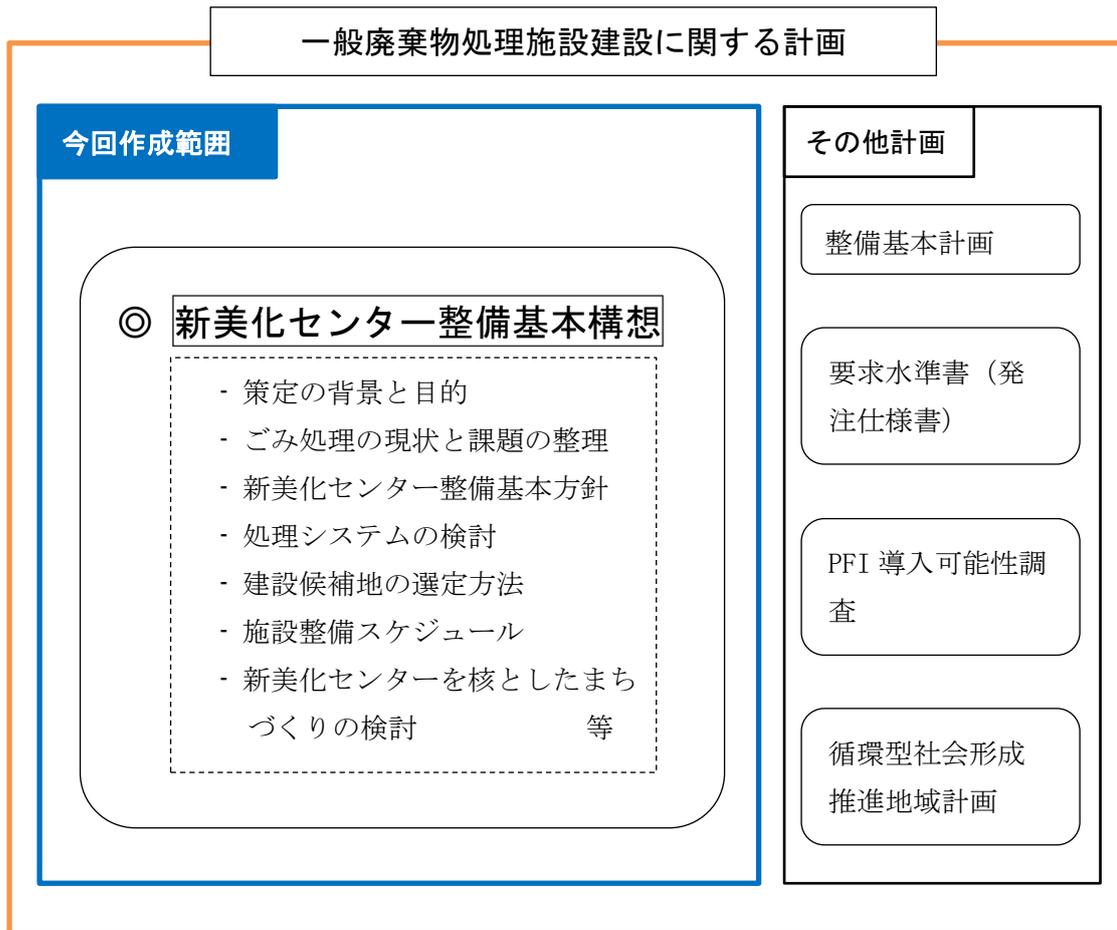


4 計画の構成

一般的に一般廃棄物処理施設を建設するまでに、「整備基本構想」、「整備基本計画」、「要求水準書（発注仕様書）」を作成し、「要求水準書（発注仕様書）」により一般廃棄物処理施設の建設工事を発注する。また、これら計画に加え、「候補地選定」や「PFI 導入可能性調査」、「循環型社会形成推進地域計画」なども適宜作成する必要がある。

「整備基本構想」は新美化センター整備に係る最初の計画となり、今後作成する各計画の前提となるものである。

【計画の構成】



5 策定の視点

新美化センター整備において、環境負荷の少ない循環型社会の形成及び脱炭素社会づくりの実現に資するよう、より効果的で効率的な計画とするため、以下の視点を持って策定する。

(1) 社会的ニーズに応える施設づくり

環境配慮のほか、市民へのアンケートを通じて、社会的ニーズを的確に捉え、新たなまちづくりの核となる施設づくりを目指す。

(2) わかりやすい計画づくり

計画内容の数値化や図表化、あるいは平易な語句を用いることによって、市民に分かりやすい計画を目指す。

(3) 将来計画の基礎となる計画づくり

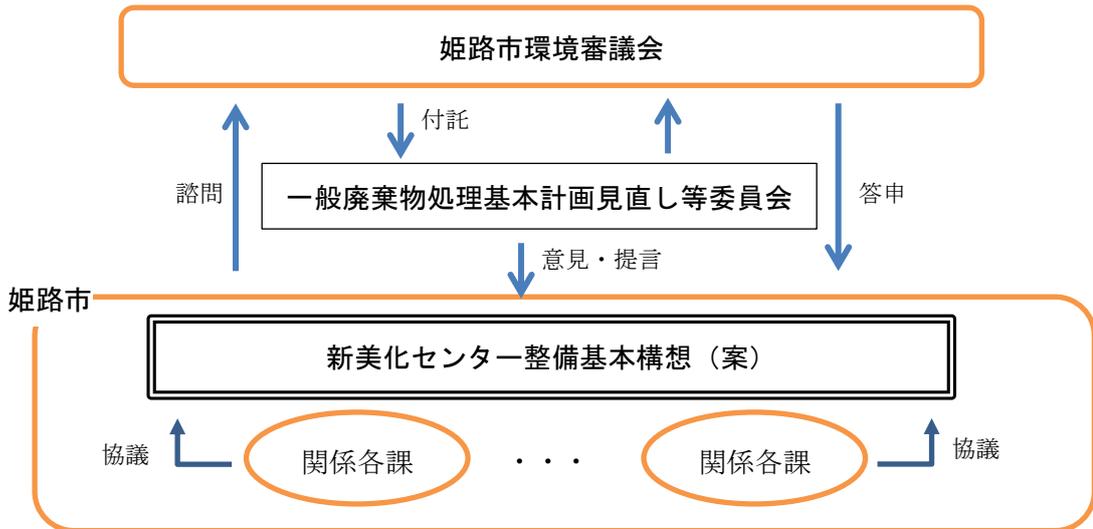
基本構想に続く整備基本計画や要求水準書（発注仕様書）の作成において、基礎となる諸条件や基本方針の策定を目指す。

(4) 中長期的な将来を見据えた計画づくり

新美化センター整備から寿命を迎えるまで長期に亘ることから、整備時期だけでなく運営期間も考慮した中長期的な将来を見据えた計画の策定を目指す。

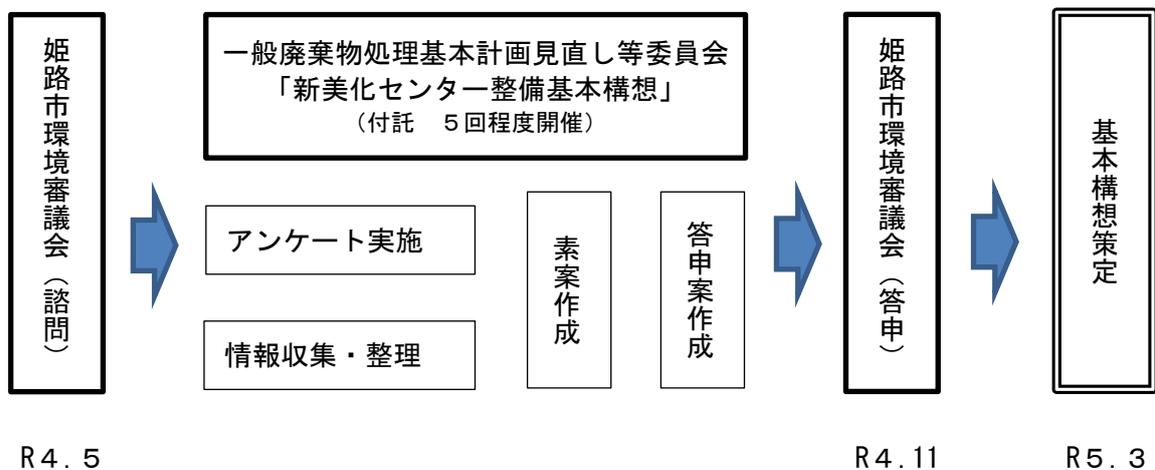
6 策定に係る組織体制・スケジュール

(1) 組織体制



建設候補地について、姫路市環境審議会では、建設候補地の選定に係る評価項目や評価基準の設定までであり、最終候補地の決定は含まない。

(2) 策定スケジュール（予定）



7 新美化センター整備基本構想のイメージ（案）

I. 序論

計画策定の背景と目的、計画の位置づけ（上位計画との関係）、計画期間などを定める。

II. ごみ処理の現状と課題の整理

姫路市のごみ処理の現状と課題の整理を行う。

III. 新美化センター整備基本方針

新美化センターの整備に係る基本方針を定める。

IV. 処理システムの検討

ごみ処理技術の動向を整理し、採用可能な処理システムを定める。

V. 広域処理の検討

兵庫県ごみ処理広域化計画と県内の状況を整理し、姫路市における広域化の検討を行う。

VI. 建設候補地の選定方法

建設候補地の選定に係る評価項目や評価基準などを定める。

VII. 施設規模の検討

処理対象物、計画処理量、計画ごみ質、施設規模などを定める。

VIII. 公害防止基準の検討

大気、水質、騒音、振動、悪臭に係る公害防止基準を定める。

IX. 施設整備スケジュール

施設整備に係る事業スケジュールを定める。

X. 財政計画

建設費や運営費等の概算事業費の算出、財源計画、財政支援制度の整理を行う。

XI. 新美化センターを核としたまちづくりの検討

他都市の事例調査、集客施設等の立地検討、付帯施設の検討、脱炭素化の検討、他の公共施設との連携検討を行う。